ARIB NEWS

一般社団法人 電波産業会
Association of Radio Industries and Businesses

No.1018 2016 年 3 月 22 日

ARIBからのお知らせ

第 138 回電波利用懇話会開催のお知らせ「世界無線通信会議（WRC-19）にむけた高度道路交通システム（ITS）の検討状況について」

ARIB ニュース No.1014 で既にお知らせしましたが、今回の電波利用懇話会では、当会の研究開発本部 ITS グループ　小山主任研究員より、ITS の現状と将来、WRC-19 に向けた ITU-R 特に Study Group 5 Working Party 5A　(SG5 WP5A)や APT Wireless Group(AWG)での国際連携のあり方などの取り組みについて解説します。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1　日　　時:　平成 28 年 3 月 29 日（火）　14 時から 15 時 30 分まで
2　場　　所:　一般社団法人電波産業会　会議室（日土地ビル 11 階）
　　東京都千代田区霞が関一丁目 4 番 1 号　日土地ビル 11F
3　題　　名:　世界無線通信会議（WRC-19）にむけた高度道路交通システム（ITS）の検討状況について
4　講　　師:　一般社団法人電波産業会 研究開発本部 ITS グループ 主任研究員 小山 敏 氏
5　対　　象:　ARIB 正会員及び賛助会員
6　参 加 者:　60 名程度　（定員になり次第締め切らせていただきます。）
7　申 込 先:　当会ホームページの懇話会等開催案内よりお申込ください。
　　(http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html)
8　参 加 費:　無料
9　問合せ先:　企画国際部 電波利用懇話会事務局 佐藤 まで
　　TEL: 03-5510-8592　E-mail: arib-seminar2015@arib.or.jp

ARIBの動き

電磁環境委員会　広報部会主催「平成 27 年度　会員向け講演会」を開催

電磁環境委員会　広報部会主催の「平成 27 年度　会員向け講演会」が、3 月 4 日（木）に 36 名の出席のもと主婦会館プラザエフで開催されました。この講演会は、電磁委員会で実施した研究成果、最新の研究動向及び WHO の最新動向等を委員会の構成委員に紹介する目的で開催している講演会で毎年開催しているものです。

今回の会員向け講演会の講演タイトルと講師は

講演 1：「WHO の電波に関する健康リスク評価動向」

講師：電磁界情報センター　　大久保千代次 センター長

講演 2：「総務省生体電磁環境に関する検討会第一次報告書発行の経緯とその概要」

講師：国立保健医療科学院　　牛山　明　上席主任研究官

でした。

講演会開催後に情報交換を開催し講師と出席者同士で主に電磁環境に関する情報交換が行われました。

モルディブ ISDB-T セミナーの結果について

3 月 13 日、モルディブ共和国バンドス島において、日本・モルディブ両国政府主催による ISDB-T セミナーが開催されました。モルディブ共和国は、2014 年 4 月に地上デジタルテレビ放送方式として日本方式（ISDB-T）の採用を決定し、現在は本放送開始に向け、日本政府の援助を受けチャンネルプランの検討等を進めています。また、当会のデジタル放送普及活動作業班（DiBEG）においても、同国の ISDB-T 国内標準規格の作成作業に対して技術支援を行ってきているところです。今般、同国における ISDB-T 導入に向けた検討が本格化してきたことから、日本・モルディブ両国政府主催により、モルディブ政府の関係省庁、放送事業者等を対象とした ISDB-T の技術や日本における取組等を紹介するセミナーが開催されることとなり、これに対して DiBEG も講師派遣をはじめとした全面的な協力を行いました。

セミナー冒頭では、両国政府を代表して、総務省の近藤放送技術課技術企画官及びモルディブ内務省のナシール大臣よりご挨拶があり、お二方から、今回のセミナーをきっかけとした両国の更なる緊密な協力関係の構築について期待が表明されました。また、これに続いて DiBEG の専門家より、ISDB-T の概要、伝送・多重、スタジオ設備、受信設備、データ放送及び地域限定サービス、緊急警報放送（EWBS）、日本の放送事業者の経験といった多岐にわたるテーマについて説明を行いました。さらに、国際協力機構（JICA）調査団より、同機構が支援を行っているモルディブにおけるチャンネルプランの検討状況、総務省の佐藤放送技術課課長補佐より、日本におけるアナログ停波の経験について説明を行いました。

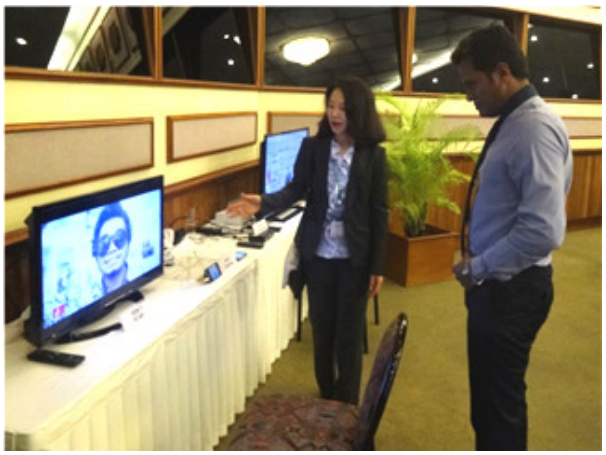
モルディブ ISDB-T セミナーの様子

モルディブ内務省
ナシール大臣

総務省
近藤技術企画官

出席者からは、特にチャンネルプランについて高い関心が寄せられ、検討の際に想定した干渉条件についての質疑が行われました。また、セミナー会場では、日本から持ち込んだ ISDB-T 方式の各種受信機（据置型、携帯型、セットトップボックス）によりモルディブ公共放送の試験放送を受信するデモンストレーションも行われ、出席者の注目を集めました。

セミナーには内務省、通信庁、放送委員会、沿岸警備庁、警察等のモルディブ政府関係者、公共放送及び民間放送の関係者等、約 80 名の参加があり、セミナー終了後には日本の出席者に対し、今回のセミナー開催に対する感謝と今後の両国の一層緊密な連携について期待する声が多数寄せられました。



受信機のデモンストレーションを視察されるナシール大臣

第 61 回前島密賞贈呈式が開催される

3 月 18 日、公益財団法人通信文化協会の主催で第 61 回前島密賞贈呈式が、東京大手町の KKR ホテル東京で開催されました。前島密賞は情報通信・放送に関するサービス提供、研究開発、文化の新興・発展に関して特段の功績があった方々に授与される伝統ある賞です。

今回 14 件、21 名及び 1 団体に前島密賞が贈呈されましたが、このうち当会の推薦により、日本電気株式会社 PASOLINK 開発グループが団体として、国内外のモバイルバックホール回線の PASOLINK 導入による高度化への貢献を評価され受賞に至りました。

同グループは自社開発・LSI 化した、世界初の 2048QAM 変調方式による高速化技術や無線通信システムに適した LDPC 符号といった技術を PASOLINK に実装し、高性能化・低価格化・高品質化を進め、優れた競争力により販売シェアを高めるとともに、国内外のモバイルネットワークの普及と高速・高品質化に貢献されました。

なお、同グループは 2013 年に第 24 回電波功績賞の電波産業会会長賞を「2048QAM 変調方式 無線伝送技術の実用化」で受賞しております。

前島密賞を受賞された皆様

日本電気株式会社 PASOLINK 開発グループ（代表）への贈呈

来賓祝辞を述べる松下総務副大臣

今週の ARIB 内会合（3 月 22 日～3 月 25 日）

3 月 23 日（水）：ロボット用電波利用システム調査研究会（第 9 回・最終）
3 月 23 日（水）：第 238 回技術委員会（放送分野）
3 月 24 日（木）：高度無線通信研究委員会
　　モバイルコマース部会　技術専門委員会（第 57 回）
3 月 25 日（金）：第 99 回規格会議
3 月 25 日（金）：デジタル放送普及活動作業班会議（第 56 回会合）

今週の国際会合（3 月 22 日～3 月 25 日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

電気通信事業法関係審査基準の一部を改正する訓令案に関する意見募集

【平成 28 年 3 月 11 日発表】

総務省は、携帯電話・PHS 番号の指定方法の変更に関し、電気通信事業法関係審査基準（平成 13 年総務省訓令第 75 号）の一部を改正する訓令案を作成しました。

本訓令案について、平成 28 年 3 月 12 日（土）から同年 4 月 11 日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については、【平成 28 年 3 月 11 日の総務省報道資料】をご覧下さい。

ARIB
Association of Radio Industries and Businesses
ARIB NEWS 発行所　一般社団法人　電波産業会
〒100-0013　東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590　FAX 03-3592-1103
http://www.arib.or.jp　E-mail arib_news@arib.or.jp